

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年5月19日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105784		
法人名	医療法人 北吉田診療所		
事業所名	グループホームしょうせきあいあい		
所在地	松山市南吉田町1872-2	(電話) 089-974-0041	
管理者	近藤 智美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成21年3月4日	評価確定日	平成21年5月19日

【情報提供票より】 (平成21年2月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 16.8人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100 円		
(3)利用者の概要 (平成21年2月20日現在)			
利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	7 名
要介護5	3 名	要支援2	1 名
年齢	平均 81.2 歳	最低 58 歳	最高 96 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、料理の仕方やマナーについて等、日々、利用者から教えていただくことが多い。時には、利用者が若い職員を叱咤激励されることもある。
 利用者、ご家族とは、繰り返し、重度化や終末期について代表者である医師を中心に話し合い、医療指針に基づき看取り支援を行われており、日頃から職員は、心構え等について医師から教わっている。居間の一角を籐のつい立てで仕切り、介護度重度の利用者が寝ておられた。「皆の声が聞こえる場所で過ごすことで表情がよくなり、声も出るようになった」と職員は話しておられた。
 利用者全員が、母体法人病院がかりつけ医であり、毎日、法人代表の医師が事業所を訪れている。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、アセスメント一覧表を作成されたり、週1回勉強会を開催し、内部研修の充実にも取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、職員全員が取り組み、ユニットごとに話し合い管理者がまとめられた。職員は、「職員個々で捉え方の違いが分かり、話し合いの大切さを再認識できた。又、普段のケアを振り返るよい機会になった」と話しておられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議と家族会を同時に開催することもある。ご家族や町内会長、民生委員の方等の出席もいただき、他事業所の職員が参加されることもある。会議では、事業所の近況報告や運営者(医師)の「突然死について」の講話、職員からの「看取り」の報告等もされ、出席者に意見をうかがっている。ご家族から折り紙のボランティアを紹介いただき、時折、来ていただけるようになった。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族会や運営推進会議の際に、利用者の近況がわかるような写真を載せたお知らせを作成し、ご家族に配布されている。ご家族の来訪も多くあり、月1回、食事会が行われており、居室でご家族と昼食を食べる利用者の方もいる。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨夏の松山祭りの野球拳に「ねたきりになら連」の一員として職員が参加された。地域の中学校の生徒が、職場体験に毎年来ている。利用者と共に近所の川の鯉の餌やりに行く際に、ご近所の方からよく声をかけていただき、鯉の餌は近くのパン屋さんが提供してくださっている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム しょうせき あいあい

(ユニット名) しょうちゃん

記入者(管理者) 近藤 智美

氏名 柳原 美智子

評価完了日 平成21年2月10日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方々がいつまでも、元気でその人らしく暮らし続けていけるように、支援するための理念をかかげている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、「利用者が住み慣れた町で最期まで暮らし続けることができる」ことを目指し、理念を作っておられる。</p>		利用者、家族のニーズにあった介護、医療を目指し、本当にここに来てよかったと言われるように向上を目指す。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念を共有できるように全員でつくっている。見えるところに掲示している。理念を職員一同共有し、それぞれの役割を持ち楽しい生活が送れるよう個々に合わせたケアを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の理念とユニット毎の介護理念を居間の入り口に掲示されている。ユニット毎の介護理念は、職員が話し合い作成されている。毎週行われている勉強会の際等には、職員全員で理念について話し合い、日々のケアを確認されている。</p>		利用者にここに来て良かったと思われる、生活の場を提供できるよう、管理者、職員等が話し合い理解を深め、さらなる理念実践に勤めたい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が地域の中で暮らし続けていけるよう、家族会や地域の方々にホームへ招き、勉強会などを行い家族や地域の方々に理念を理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>		いろんな取り組みや、勉強会などを行い、家族や地域の方々に参加の声掛けをしたり地域行事に参加する機会を増やし、地域の方々への理解を図る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員全員が隣近住民に会った際には、笑顔で挨拶し、気軽に立ち寄っていただけるよう、話をすることもある。また色々な取り組みや勉強会なども紹介し、気軽に参加できるよう、声掛けを行っている。回覧板をまわしたり、食事会のおすそ分けをしている。		行事等、様々な機会を設け、近隣の方が気軽に立ち寄ってもらえるよう努めている、又(少額の)食品や手土産の授受など、食事会のオードブルをくばっている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域活動にも頻回に参加し地元の方々と交流することに努めている。 (外部評価) 事業所は、町内会に入っており、回覧板も回ってくるようになっている。町内会の総会に職員が出席し、地域の清掃にも職員が参加されている。又、昨夏の松山祭りの野球拳に「ねたきりになら連」の一員として職員が参加された。地域の中学校の生徒が、職場体験に毎年来ている。利用者と共に近所の川の鯉の餌やりに行く際に、ご近所の方からよく声をかけていただき、鯉の餌は近くのパン屋さんが提供してくださっている。		今後もさらに地域行事への参加機会を増やし、よりいっそう地域に根ざした施設にしたい。 管理者は、今後、近隣幼稚園にも声かけして交流を始めたいと話しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議や家族会、地域での勉強を通じて、医療介護のトピックスや介護予防、口腔ケアの講話を行っている。		今後とも、家族や地域住民との交流会を通じて、医療、介護に関する情報や勉強会などの情報提供を行っていく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 研修へも参加し理解している、評価を活かすよう努めている。 (外部評価) 自己評価は、職員全員が取り組み、ユニットごとに話し合い管理者がまとめられた。職員は、「職員個々で捉え方の違いが分かり、話し合いの大切さを再認識できた。又、普段のケアを振り返るよい機会になった」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、アセスメント一覧表を作成されたり、週1回勉強会を開催し、内部研修の充実にも取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 地域の方や家族に参加していただき、運営者との意見交換等を実施しており、多数の意見をありがたく受けとめ、今後の施設においてサービス向上へ活かしていきたい。		より多くの地域の方々や、家族の方々が参加いただけるよう運営推進会議開催の呼びかけに努めている。
			(外部評価) 運営推進会議と家族会を同時に開催することもある。ご家族や町内会長、民生委員の方等の出席もいただき、他事業所の職員が参加されることもある。会議では、事業所の近況報告や運営者(医師)の「突然死について」の講話、職員からの「看取り」の報告等もされ、出席者に意見をうかがっている。ご家族から折り紙のボランティアを紹介いただき、時折、来ていただけるようになった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 会議以外でも、疑問点などサービス向上のために訪問や電話などで連携を図っている。		
			(外部評価) 運営推進会議の議題やすすめ方、生活保護受給者の生活について等、相談にのっていただいている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在は活用の機会はないが、制度把握のため研修など参加し理解している。		必要になれば、話し合い対応していくことになっている。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 暴力はもちろん、言葉の暴力にも気を使っている。職員同士で気を付け話し合い虐待防止に努めている。		接遇や利用者に対する対応に関しての勉強会を行い、虐待の起こらないよう、報告、連絡、相談を行い、監視、監督を強化している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項等をきちんと説明しトラブルにならないよう、契約内容の理解を図っている。		必要時は2名以上の職員で対応し説明などを行っている。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見や苦情は、管理者やリーダーがきちんと聞き、運営者、管理者又は職員を含め話し合いを行い運営に反映している。		面会時は職員など声かけを行い、気軽に意見を言える場の提供をしている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 面会時や電話対応の時に近況報告などを行っている。また、ユニット入口には写真にて職員名などをわかりやすく掲示している。		会議やお知らせにて近況報告や出来事を知らせている。また個々にはホーム内での生活を写真に写し家族様に送るなどして報告している
			(外部評価) 家族会や運営推進会議の際に、利用者の近況がわかるような写真を載せたお知らせを作成し、ご家族に配布されている。ご家族の来訪も多くあり、月1回、食事会が行われており、居室でご家族と昼食を食べる利用者の方もいる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ユニットカウンターに意見箱を設置している。面会時や家族会などの場において意見を聞き、運営に反映している。		今後も家族や地域の方々が意見の言う機会を増やし、安心して利用できる施設にしたい。
			(外部評価) 食事会の際等にご家族から出たご意見等は、職員が申し送りノートに書き留め、解決に向けて話し合われている。		ご家族の心配や不安の解消のためにも、ご家族個別にゆっくりお話をするような機会を作ってはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者、管理者は問題などないか職員に聞くなどし、あれば回答し可能な範囲で反映している。		いつでも管理者、運営者に相談できる環境をより多くしていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事や利用者の状態により職員の配置など行い勤務調整に努めている。		より多く関わっていくために職員間でも話し合いをしている。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動前には応援体制などを利用し、利用者様と関わる機会を設けるなど勤務調整を行い、施設全体でなじみの環境となるようにし、ダメージをなくしている。		行事やレクなどを利用し他のユニットの職員と関わる機会を増やしている。閉鎖的にならない工夫をしている。
			(外部評価) この1年間、職員の離職は、減っている。居間の入り口には、職員の写真と名前を掲示し、利用者、ご家族にもわかりやすいようにされている。又、アセスメント一覧表を作り、新しい職員が利用者の状態を早く知ることができるよう工夫されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 行政や民間の研修への参加や施設内での毎週の研修・勉強会、地域や他事業所職員と一緒に研修会を行う等してネットワーク作りや質の向上に努めている。		職員のスキルに合った研修への参加・ホーム全体のスキルアップのための毎週の勉強会に取り組んでいる。技術はもちろん接遇など多種多様の研修をしている。
			(外部評価) 毎週行われる職員全員参加の勉強会では、介護技術や接遇、医療知識等について勉強をされている。		今後、管理者は、職員が、外部研修も積極的に受講できるよう、すすめていきたいと考えておられる。さらなる職員のスキルアップから、貴事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同業者などの会へ参加し、交流やネットワーク作りに努め、質向上の取り組みを行っている。		
			(外部評価)		
			地域の他事業所と合同で、救命救急講習等の研修を行うこともある。運営推進会議時、他事業所の職員にも出席をいただき、ご意見ももらっている。		さらに今後、職員等が他事業所へ出かけていくような取り組みもすすめてみてはどうだろうか。相互訪問等からの気づきを貴事業所のサービスの質の向上につなげていかれることが期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者自らが相談窓口になり、不満や要望を聞き、勤務関係や人間関係の調査を行っている。		職員やリーダーなどにも意見を聞くなどし複数の人間が関わり調整していく、問題点の把握に努める。施設長が個人面談をしている。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			半期に一度目標管理シートの記入により個人評価を行い、賞与や昇給に反映している。		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			施設見学や必要時は利用体験などを行い、困っていることや不安を聴くことや質問の出来る場を提供している		少しでも多くの情報を収集し個々のニーズにあった対応が出来るようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談や見学など時間をゆっくりとり、家族の不安など話せる機会を作り質問など回答できることは都度回答し説明している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時はグループホームだけでなく、他のサービスのこともニーズにあったサービスが利用できるように対応している。		必要ならば在宅支援の話をすることもある。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 体験利用などにより、食事やレクなど利用者や職員と関わることの多い場に参加してもらうなど工夫をしている。 (外部評価) 併設の小規模多機能型居宅介護事業所からの入居もある。又、入居前には見学に来ていただき、食事をもにすることもある。病院からの入居の場合、職員が出向いてお話をうかがい、ご家族には必ず事業所を見学いただくようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事作りや野菜作りなど、生活の知恵を教えていただく。戦時中の苦労話など・貴重な話に共感したり、今の私たちの生活基盤を築かれた方々に敬意をもちます。 (外部評価) 職員は、料理の仕方やマナーについて等、日々、利用者から教えていただくことが多い。時には、利用者が若い職員を叱咤激励されることもある。		個々の人生の喜びや悲しみに共感し暖かく支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との連絡を密に行うなどし、本人の要望を伝えるなど、共に支えていける関係を築いている		今後も家族と共に支援できる関係構築に努めたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) お互いの思いに配慮し、必要なら助言を行うなどして、より良い関係構築に努めている。		家族との関係がよりよくなるように、ホームで共過ごす時間の提供や、ホームに来る機会を多くしていただけるように努めている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族と一緒に馴染みの方に会いに出かけたり、面会に来たりしている。		家族と連絡を取り合い、できるだけ本人の要望に添えるよう支援していく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個々の行動を把握し利用者同士が関わりあえるよう支援している。互いが助け合える関係が出来ている。		互いが助け合い生活できるよう、必要に応じ間に職員が入り関係作りの支援を継続していく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 行事案内やお知らせなどを行い、参加していただきホームと関わり続けれるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 起床・就寝時間をはじめ、居室での過ごし方や、持ち込み物など、個々の好みのスタイルに出来るだけ合わせるようにしていく。</p> <p>(外部評価) センター方式のアセスメント表を用いて、利用者一人ひとりの思いや生活歴等の把握に努めておられる。</p>		<p>より希望に添った生活を送っていただけるよう個々のコミュニケーションを深め、ニーズの把握に努めていきたい。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) センター方式を用い、これまでの暮らしを把握、情報収集に努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) センター方式を用い、職員が観察し総合的な把握に努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) プラン作成時は、本人・家族の思いを取り入れ、複数の職員で話し合い、作成・見直しに努めている。</p> <p>(外部評価) ご本人やご家族の希望をお聞きして、ご家族来訪時に話し合い、介護計画を作成されている。遠方のご家族には、ご意見を電話でお聞きして、郵送で確認していただいている。</p>		<p>日々の中で、本人の思いなどを把握するよう努める。課題においても日々観察に努める。よりその人らしい暮らしのためのプランにしていきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				状態変化など、都度現状にあったプランへの取り組みに努めている。		状態により頻会に見直し、作成を話し合いの元、今後も継続していく。
			(外部評価)			
			3ヶ月ごとに介護計画を見直し、体調等、変化がある場合には、随時見直しておられる。			
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				日々の中で気づきや、変化、実践、結果を行動記録に記入し、カンファを行い、実践見直しに活かしている。		日々の変化は、申し送りなどを利用し、即対応できるように努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				軽度、重度の利用者が共に生活をしているため、助け合い生活をしている。又、希望に添えるよう柔軟に対応に努めている。		利用者、家族の状況や要望を常に把握し、希望に添える支援が出来るように取り組んでいる。
			(外部評価)			
			併設の小規模多機能型居宅介護事業所でレクリエーションを楽しまれる利用者もいる。法事やお孫さんの入学式等に参加される際には、職員が同行することもある。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を通じ、民生委員の方とは常に連携している。消防署の方に来ていただき、防火訓練や救急講習などを行い、参加していただいている。読み聞かせなどのボランティアにも来ていただいている。		色々な方が集まれば、思いもつかない力ができると思う、協力が大切。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人・家族の意向をきちんと理解し、希望や状態に応じ、サービスの内容を変えることもある。		要望に応じ、最善のサービスが受けられるよう支援していく。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ協働している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医の往診が毎日あり、症状の変化に的確に対応している。急変時も主治医・スタッフの素早い対応、的確な対応処置により、一命をとりとめている。 (外部評価) 利用者全員が、母体法人病院がかかりつけ医であり、毎日、法人代表の医師が事業所を訪れている。眼科、耳鼻科等、他の医院にかかる場合、ご家族の都合が悪いときには、職員が同行されている。		緊急時でも24時間、スタッフ全体が早く確実に対応できるように本人本位に適切に対応している。スムーズに対応できるよう日頃から教育・訓練を行っている。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医が認知症をりかいしており、利用者、家族、スタッフが相談でき、即対応できるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 24時間看護師が勤務し、日常の変化、状態把握に努めている。職種間の隔たりなく、異常に気付いた時には、細かくメモし正確に伝える。		申し送りなどにより、状態変化をきちんと伝えるようにしている。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 早期退院できるよう、訪問や、病院職員からの情報を得ている。スタッフ全体で共有・協力し連携を図っている。		精神的にもフォローできるよう明るく対応している。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 原則終身介護を前提としており、医療機関と連携を図り、重度化しても必要な医療・介護を提供し、職員一同責任を持って、看取りまで実施できる体制を整えている。方針を本人・家族共によく理解している。		本人を一番知っている・理解している方と納得のいくまで、説明・相談・調整している。
			(外部評価) 利用者、ご家族とは、繰り返し、重度化や終末期について代表者である医師を中心に話し合い、医療指針に基づき看取り支援を行われており、日頃から職員は、心構え等について医師から教わっている。居間の一角を籐のつい立てで仕切り、介護度重度の利用者が寝ておられた。「皆の声が聞こえる場所で過ごすことで表情がよくなり、声も出るようになった」と職員は話しておられた。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 先を見極めるために、現状把握を正確にし、看護師・主治医に報告し今後に備えている。		利用者を中心に常に考え、見極めている。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 現状をきちんと正確に、書面などを用い、情報提供をしている。		関係者間で密に連絡をとりあい、ダメージを防いでいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>人生の先輩としての尊重や対応に心がけ、個々に丁寧に声かけをしている。個人情報などプライバシーに関するものは持ち出さないようにしている。</p>		<p>必要以外は個人情報に関する会話は防ぐ。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>十分な説明と声かけ表情や動きに注視し不満の有無を見極めることに努めている。</p>		<p>体力低下など気分が沈んでいるときには、前向きになる会話を心がけている。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の好みや個性を大切に、その人らしい暮らしができるように配慮している。個々のペースで日々過せるよう支援している。</p>		<p>今後も個々にあった、その人らしい生活が出来るよう支援していく。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>ご自宅の様子を気にされる利用者が、毎週帰宅できるよう支援されている。朝食は、それぞれの生活リズムに合わせて、起床された順に食事ができるようになっている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着たい服を選んでもらっている。アドバイスを求められこともあり、天候や行事など伝え一緒に選ぶこともある。理容は本人・家族の希望に応じ、馴染みの店などを利用している。		その人らしい身だしなみ・おしゃれが出来るよう支援していく。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 会話の中から好みを聞くなど、年中行事に合わせたメニューを考慮し、一緒に準備をしアドバイスしていただいている。日頃の調理に活かしている。		レクの一貫とし日々楽しい、食事時間が過せるように支援する。
			(外部評価) 食事前に、レクレーションとして歌の歌詞を朗読したり歌を歌う等、口腔体操をされている。テレビを食堂には置かず、皆で会話を楽しくするように心がけておられる。利用者と一緒に野菜の下ごしらえを行うこともある。		管理者は、今後さらに、利用者個々の希望を十分採り入れた食事作りに取り組んでいきたいと考えておられた。さらに、ご家族にも食事についての意見をいただくような機会を作ってはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 食事時は家族・本人の希望により、梅干など好みのものを出している。おやつ時はメニューにより、飲み物も選んでもらっている。		日頃からかかわりの中で、好みのものを把握し、より本人の嗜好の支援が出来るように努める。
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、オムツ使用の方でも、定期的に声かけし、トイレ誘導をしている。プライベートなことであり、不要な干渉はさけ、ゆっくり排泄できるようにしている。		オムツ利用中でも、苦痛がなければトイレ誘導をし、オムツの使用を減らすよう支援している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日は決めているが、希望により曜日を変更したり、好きな時間に入浴できるようにしている。		楽しんで入浴できるよう配慮していく。
			(外部評価)		
			現在、週2回の入浴であるが、重度の方もできるだけ浴槽で温まれるよう支援されている。入浴剤等、利用者の好みをお聞きして、使用されることもある。夕方に、シャワーを利用される方もいる。		入浴の回数や好み、習慣等についても利用者やご家族の希望を聞いてみてはどうだろうか。利用者個々が入浴を楽しめるような支援の工夫を重ねていかれることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個々の体調や気分に合わせて、居室やリビング・和室でも休息できるよう、ソファを備えている。季節により寝具の調節や布団を干したりと快適な睡眠が出来るよう支援している。		個々の生活習慣や健康状態を把握し、気持ちよく、安眠・休息できるよう支援していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			日々のかかわりの中で、個々の特技などを把握し、様々なレクを提供し、持っている特技を發揮できる機会を持てるよう配慮している。		料理や洗濯などアイデアを学んだり、準備や調理をするなど日々の暮らしの中に、張り合いを持って生活できるよう支援している。
			(外部評価)		
			食事の支度をされる方や薬の袋を再利用してメモ帳を作る方もいる。新聞を読んだり、時には、風船パレーや折り紙をされたり、読み聞かせボランティアの方も来てくれるようになっている。		今後さらに、利用者個々の出来ること出来そうなことを探り、それぞれの持てる力を發揮して、生活の張り合いや楽しみを支援していかれてほしい。活動について、ご家族にも意見をうかがうような機会を作ってみてはどうだろうか。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			貴重品であるため事務所で管理はしているが、希望により買い物や散髪など、お金を所持し使う機会を提供している。		トラブルを防ぐため事務所での管理はしていくが、希望により、自由にお金が見えるよう支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			体調や気候を配慮し施設周辺を職員や家族様と散歩したり、花壇で花や野菜を栽培したりなどしている。また、希望により家族様と外出や外泊が出来るよう支援している。		犬と一緒に散歩をしたりと外出の機会を増やしている。
			(外部評価)		
			ご家族との外出やお花見等、行事で外出することはあるが、これまで介護度重度の利用者も多かったこともあり、個々の希望に沿うことがむつかしく、この一年間は、外出の機会は少な目であった。		ご家族から、「もっと外出の機会を増やして欲しい」との要望もある。今後、利用者やご家族の意見等も聞きながら、利用者が外出して楽しむ機会を作っていくと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			利用者様が一緒に参加できる研修に参加したり、家族様と自由に外出できるよう支援している。		家族様に要望を伝えることにより外出支援をしていく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望により、本人・職員が代わりに家族や知人に連絡できるように支援している。また、利用者と一緒に年賀状を作成し、家族や知人に送っている。		離れて暮らしている、様子を知らせる機会にもなり、今後も電話や手紙のやり取りの支援をしていきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や馴染みの方の訪問時には、居室に案内し、心地良くゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。また、日頃の様子を話したり、写真を見ていただいたり工夫している。		今後も面会に来た方には心地良く過ごしていただけるよう配慮していく。話や写真で日頃の様子を伝えることにより、心配を軽減したり、安心していただけるよう支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 医療的（生命に危険を及ぼす）な場合のみとし、その場合でも、家族やスタッフの見守りが可能なときは拘束をしないですむように支援している。		拘束時間を少しでも軽減できるように支援していく
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中の散歩やレクなど関わりを多くすることで、鍵をかけないで生活できている。勝手に出る方でも、ホーム全体で気をつけあうことで、鍵をかけないでいる。		スタッフが利用者さんの状態を把握し注意をしていれば鍵のない生活ができる。但し夜間は危険防止のため施錠している。
			(外部評価) 日中は玄関に鍵を掛けていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーに配慮しながらも、定期的に居室を訪れ、状態把握に努め安全に配慮している。特に夜間は一時間おきの巡回により安全を確保している。		精神面や体調において不安定な場合は、頻回に訪室し安全確認・確保につとめる。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個々の状態を把握し薬・食べ物・危険物（消毒・石鹸）などの管理の援助をしている。		個々にあった物品管理に努め危険を防いでいる。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 転倒などの可能性には寝具の工夫や食事の工夫により防止できるものは起こさない取り組みをし、起きた場合も速やかに対処し、今後同様の事故が起きない要している。		職員が事故防止に対し研修を行い、事故防止に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年二回の救急講習を管轄の消防に協力を依頼している。施設内でも勉強会を行い、救急対応できるよう指導し、マニュアル作成もしている。		看護師・医師への報告を速やかに行い適切に初期対応が行えるようしていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 頻回に訓練を行い、職員がいつも避難方法など確認していく。 (外部評価) この1年は、3回消防署と合同の避難訓練が行われた。夜間時の訓練も行いアドバイスもいただいている。毎月、職員で自主的な訓練も行われている。		マニュアルを作成し、地域の方をお願いすることなどを、解かりやすくし、地域と一緒に訓練をしていく。 「地域の避難場所として指定していただいていることもあり、今後は地域の方も参加いただき訓練をすすめていきたい」と管理者は話しておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族様とは、面会時又は随時、状態などを報告し、小さなことでも話し合い、速やかに対処できるようにしている。		個々におこりえる、リスクを職員全員が把握し、見守りを徹底し抑圧感のない生活支援をしていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々の健康チェック・身体の観察を行い、異常を早期発見し、速やかな対応をしている。		異常に気付いたときは、看護師に報告し医師の指示により対応している。申し送りの中で変化を伝えるなど状態を把握できようしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理は看護師がしっかり行っている。内容はスタッフ全員が把握するよう、変更などは申し送りやノートなどを利用し把握できるようしている。		体調など変化のある場合は、医師に報告し指示をあおぐ。速やかに対応していく。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘による弊害を理解しているため、水分量や食事内容には気を配っている。		レクなど少しでも身体を動かす工夫をしている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 経口摂取のない方にも、日に3回以上は口腔ケアを行っている。義歯も都度洗っている。毎週歯科往診も行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士はいないが、新鮮でバランスのとれた食事の提供に心がけている。		日々記録をし、少ないときは速やかに対応している。個々の状態を把握し、個々にあった水分補給の支援をしている。
			(外部評価) 食事は、旬の新鮮な食材を使って手作りされている。保健所の方に献立を見ていただくこともある。コーヒー、紅茶、ジュース等好きなものも飲めるよう用意されている。又、調理や飲用の水は、還元水を使用されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 食後の歯磨きや食前の手消毒を徹底している。		感染対策など必要に応じ勉強会を行い、知識を身につけ対応できるようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節のものなど、直接、目で確認し新鮮なものを購入している。</p>		<p>毎日道具や布巾は消毒し保管にも注意をはらい、安全管理に努めている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関付近に花壇を作り親しみやすい工夫をとっている。入口のカウンターにはお花を準備している。</p>		<p>車椅子でもスムーズに出入りできるよう環境整備に努めている。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日掃除・トイレは品会に掃除し気持ちよく使えるようにしている。リビングにはツリーを飾るなど生活・季節感に工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関の植え込みには、ご家族も手入れして下さった桜草等の季節の花が咲いていた。居間には畳のスペースがあり、洗濯物をたたんだり、時には昼寝をされる方もいる。</p>		<p>さらに、室温の調節やしつらえ等、ご本人やご家族等にもご意見をうかがうような機会も作ってはどうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングには和室も準備されているので、ソファーなどを利用し、色々なスタイルで過ごせるようになっている。</p>		<p>個々の体調にあったくつろぎ方が出来るよう空間作りをしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた家具などを持ち込み、安心して心地良く生活できるよう支援している。		
			(外部評価)		
			お位牌やご家族の写真、併設の小規模多機能型居宅介護事業所で描いた絵等を飾っておられる居室がうかがえた。たんすやテレビを持ち込まれたり、ご家族から送られたお花を飾っておられる方もいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度・臭いは常にチェックし、個々の体調を見ながら、換気や温度管理に努めている。		臭いの発生するものは早くに処理し、臭いを出さない対応をし、外気温との差を考えながら換気をしていく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			整理整頓に努め、安全に動きやすいスペース作りをしている。		常に安全で生活しやすい環境整備に努める。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			個々の状態把握に努め、出来ること・出来ないことへ適切に支援をし、混乱時も温かい対応を心がけるよう努めている。		混乱や不穏に対しては、原因を探り個々に応じた対応をしていく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			花壇があり、花や野菜を栽培している。天気の良いときは、戸外で食事をしたり、犬と一緒に散歩もしている。		体調や好みに配慮し屋外への活動への支援に努める。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	一人一人のコミュニケーションを大切にし会話や表情から思い・願いを把握する努力をしている。情報は職員が共有し、それぞれに応じた対応をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者の状態により、かわりには、さまざまであるが、個々の状態に合わせて、リビングやあるいは、居室でゆっくりと向かい合い、世間話や昔話をするなど、コミュニケーションをとっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々のペースを大切に、食事・入浴・休息など、日常生活動作において、声かけし、時間や・援助方法の意向を確認し、それぞれに応じた対応をしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かわりの中で個々の個性や好みを把握し、それを参考に、作業・行事を提供し一緒に取り組むことで、笑顔や会話・活動が活発になる様子が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況により、家族の協力を得ながら、外出をしている。散髪は近所の美容院に行ったり、体力に合わせて近所を散歩している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護・介護職が都度、連携・相談することにより、総合的な管理体制が出来ている。些細なことでも、すぐ医師に報告し対応できる環境が整っている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況により即対応が困難なときもあるが、話し合いや理解を得ながら出来る限り要望に応えられるよう努力している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	職員から積極的に挨拶や声かけをし、日頃の生活ぶりを話すなどして、コミュニケーションに努めることにより、家族が何でも話せる関係作りが出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ボランティアでコーラスを披露していただいたり、読み聞かせや折り紙などのレクリエーションをしてもらっている。近所の方が季節の野菜を届けてくれるなど交流もある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議には、家族の方や民生委員・地域・近隣など多くの方が参加し、施設の様態・特徴・メリットを理解していただけるよう努めている。利用希望の問い合わせが増えている。
98	職員は、生き生きと働いている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	経験の少ない職員もいるが、職員同士がフォローしたり、定期的に勉強会をし、事業内容の理解や、幅広い学習が出来る機会があり、ステップアップによる自信や達成感が日々の活性化に繋がっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員とのかかわりを楽しみにしており、表情や言葉から満足している様子が伺える。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族とのコミュニケーションをとることに努め、本音で話せる関係作りが、出来ている中で、施設の体制や職員のかかわりに満足しているとの言葉が聞かれている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

医療と介護は表裏一体で切り離せないものとの理念で運営している。毎日主治医の往診があり、緊急往診も可能で施設内には多数の看護師が常駐しており、医療的ニーズの高い方への対応が出来ること。重介護者、軽介護者の隔たりなく介護している。毎食前後には口腔ケア体操を行い、食欲増進・誤嚥を防いでいる。終身介護を前提とし看取りがなされていること。家族・利用者・職員の隔たりなく、きちんと意見を言えるようにし、利用者本意に考えた支援を行っている。